

週間感染症情報

2025年44週～45週 2025年10月27日より2025年11月9日まで

44週 45週

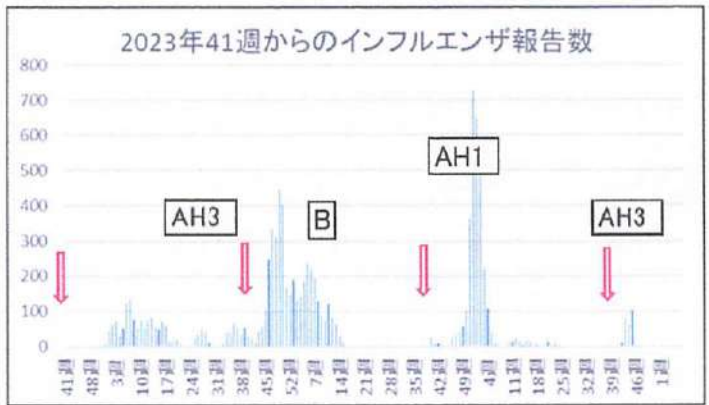
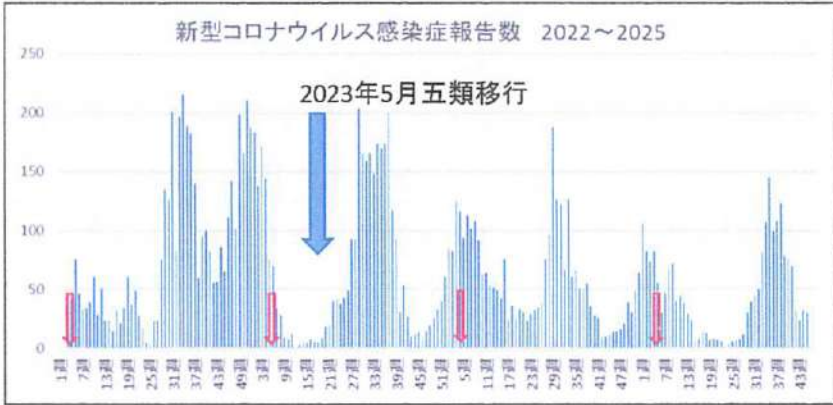
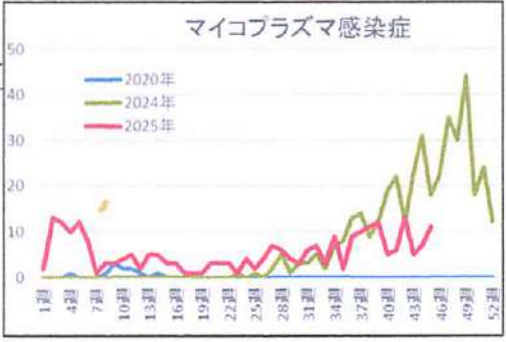
麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	4	
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	11	9
手足口病	1	
ヘルパンギーナ		
伝染性紅斑	5	5
感染性胃腸炎	4	4
ノロウイルス(再掲)		
腺ウイルス(再掲)		
突発性発疹		1
伝染性膿痂疹(とびひ)	2	2
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症	2	1
RSウイルス感染症	2	2
マイコプラズマ感染症	7	11
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ	59	101
インフルエンザ A	55	96
インフルエンザ B		
新型コロナウイルス感染症	32	30

44～45週2週間分の報告です。10月30日に岡山県にインフルエンザ注意報が発令されました。市内でも小中学生を中心にインフルエンザAの流行がはじまりました。発表会の練習・修学旅行などでクラスターが出ています。家族内感染で乳幼児の報告が増えています。内科の先生からは、高校生や若い人の報告が増えてきており、市内全域での大きな流行になっていくのではと危惧しています。感染研の報告によると、AH3型多く重篤感があります。コロナは少なくなりましたが30例前後あります。

クラスに一人インフルエンザの患者が出ると、数日後には周囲の5-6人がり患し、1週間するとクラスの半数がり患して、2週間でクラス内の流行は終息します

マイコプラズマ感染症は、幼稚園・保育園など低年齢の症例が増えています。百日咳の報告は38週よりありません。伝染性紅斑の報告は減少しました。感染性胃腸炎の報告はほとんどありませんが、これから増えてくると思われます。RSウイルス感染症の報告は続いています。乳児が感染すると重症になり、入院が必要になることがあります。妊婦さん用の予防接種(自費)があります。

コロナ・インフルエンザのワクチン接種が10月より始まりました。まだ間に合いますので、早めに接種しましょう。
熱がなくても咳をしている場合は、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)